そよかぜ　6月園便り

令和５年６月１日（木）

西東京市立そよかぜ保育園

散歩に出ると紫陽花を見かけるようになりました。お花を見て季節を感じられるって、とても素敵なことですね。「**カシワバアジサイ**（柏葉紫陽花）」というちょっと面白い形の紫陽花もあるので、ぜひ見つけてみてください。（ちなみに葉っぱの形が柏の葉に似ているのでこの名が付いたそうです）

先日のお便りでもお知らせしましたが、コロナが５類に移行したことで改めて保育を見直しています。保育室への入室一つとっても、部屋の入り口での受け入れが当たり前になっており、その方が子どもたちもすっきりと「行ってらっしゃい」ができて生活のけじめがつくのでは…という議論もしました。けれど、その入り口のドア１枚が保育園と保護者の皆さんを隔てる厚い壁になっているのではないかとも考えました。入室していただくことで、子どもたちの生活ぶりを肌で感じてもらったり、我が子だけでなく一緒に過ごしている他の子どもたちのことも見てもらったり…それってとても大事なことだと思います。そしてお迎えに来た時に、部屋がホッと一息つけるような空間でありたいとも思いました。

そんなこんなで、来週月曜日からいよいよ入室再開です。戸惑われることもあるかと思いますが、困ったことがあったらいつでも声をかけてくださいね。

＊先日の**保育の変更点に関するお便り**の**追加**があります。

・今まで連絡ノートやお便りは通園時のバッグに入れさせてもらっていましたが、今後は室内のウォールポケットに入れますので、忘れずにそこからお持ちください。
（幼児クラスは子どもたちが自分でリュックに入れます）

・ご兄弟がいる場合のお迎えは、下のお子さんからお願いします。

６月の行事

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				4.5 才 プラネタリウム		
4	5	6	7	8	9	10
						親子遊ぼう会 父親遊ぼう会
11	12	13	14	15	16	17
		５才みどり交流	布団乾燥		眼科検診	
18	19	20	21	22	23	24
	幼児クラス じゃがいも掘り	歯科検診	誕生会	幼児クラス 歯科衛生指導	５才四園交流	
25	26	27	28	29	30	
		避難訓練 ５才合同運動会	５才 園内お泊り保育	５才 園内お泊り保育		

※6/27『5 才合同運動会』は、年長クラスとみどり保育園の年長さんと合同の“ミニ運動会”となります

理事長　コラム

子どもまんなか社会

４月　子ども家庭庁が発足した。異次元の少子化対策といわれ、期待は高まっている。「子どもまんなか社会」の実現に向け、縦割り行政による弊害を解消・是正し、取りこぼしのない支援をするために設立した。妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ「伴走型支援」を計画している。少子化対策の財源について、「負担をこれから生まれる子どもたちの世代に先送りすることになる赤字国債で賄うことは本末転倒」と報じられた。そして６月中にまとめられる子ども未来戦略方針の中で具体的な内容・予算・財源を一体的に検討した上で、年末に結論を出すという。

一人一人の子ども達に寄り添えるよう保育士の増配置を願うのだが叶うだろうか。子育て世代の家庭の負担軽減はなされるのだろうか？　等など課題が山積する。

ようやく子育ち・子育て施策に取り組もうとしている。果たしてどのようなプランが提示されるのだろうか。じっくりと見ていきたい。

西東京市では子ども条例を策定（2018 年）した。

今と未来を生きるすべての子どもたちが健やかに育つ環境を整えるために、その理念を共有し、仕組みを整え、まち全体で支えていく事を目的としている。

子どもをまんなかに　　子どもの育ちを支える人たちの役割を

保護者は　子育てにおいて重要な役割を持っているため、市や育ち学ぶ施設の関係者などの支援を活用しながら、子どもが健やかに育つよう努める

市（行政）は　すべての子どもが命を大切にされ、健やかに育つことが出来るよう、子どもの意見を尊重し、子どもの最善の利益を考慮して、子どもに関わる施策を総合的に実施する

育ち学ぶ施設の関係者は　子どもが主体性を持ち、学び、成長するよう支援に努める

事業者は　事業活動を行う中で子どもが健やかに育つことができ、また子育てしやすい環境をつくっていくために配慮するよう努める

市民は　子どもは身近な存在であり、地域の中で子どもが育っていくことを認識し、子どもの健やかな育ちのために、子どもや保護者などに協力するよう努める。

と定めている。

幼い頃　どんな出会いがあるか、どんな感動があるか、どんな体験をするか。

たのしい　うれしい　おいしい　かなしい　くやしい　つらい　つかれた…様々な感覚・感情を身近な人と共有・共感し、見守り、見守られ、育ちあいを重ねていく。　原点かなー　と思うのです。

職員のつぶやき

小学２年生の長男が、４月から野球を始めました。誘ってもらったのがきっかけですが、正直なところ、あまり野球に縁がなかった我が家…。どうなるかと思っていましたが、想像以上に楽しく過ごしています。

先日は、初めて試合に出場しました。初打席、カチンコチンに緊張していた長男は、バットを構えたものの微動だにせず。「緊張して足がくらくらした」と言っていました。それでも、日に日にキャッチボールが上手になったり、バットにボールがあたるようになったりと、少しずつ上達中。夫は毎回練習に参加し、３歳になったばかりの次男も、バットを振ってまねっこ。私の父も「本腰入れてキャッチボールやるか～」と、孫の為に張り切っています。

休日が活気づいて、これからの我が子の姿が楽しみです。

羽村しらうめ保育園　　福岡 亜希子